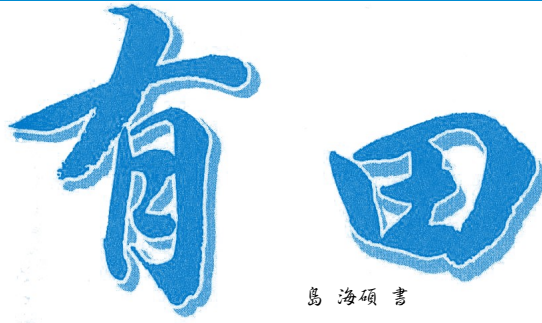


No. 2926

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也
幹 事 中元耕一郎
R広報委員長 脇村 重徳



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和元年10月10日 第2927回

- ・外部卓話：任泰然君（米山奨学生）
「生活はチョコレート箱みたい」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2926回例会）

開催日 令和元年9月26日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ゲストの紹介 (児嶋親睦活動委員長)

ゲスト：渡辺誠二様

(一般社団法人ロータリーの友事務所所長・理事)

ビジター：塩路信人君 (IM実行委員会委員長 御坊RC)
丸山信仁君

(IM実行委員会副委員長 御坊RC)

第2分区IM開催に関する紹介



IM実行委員会の
塩路君と丸山君より
第2分区IM開催について
ご紹介していただきました。

ニコニコ箱の報告 (岩橋SAA)

橋本君：渡辺様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしく
お願いします。

中元君：渡辺誠二様、本日よりよろしくお願いします。
御坊RC 塩路様、丸山様、ようこそ有田RCへ。

2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



次回のお知らせ

令和元年10月24日 第2928回

- ・前期IDM発表
- ・ソング：「それでこそロータリー」

塩路信人君(御坊RC)：本日よりよろしくお願いします。
丸山信仁君(御坊RC)：IMにご協力お願いします。
成川(守)君：米山梅吉記念館50周年記念式典で「功労賞」をいただきました。
渡辺ロータリーの友所長、遠路ご苦労さまです。
石垣(洋)君：渡辺誠二様、ようこそ有田RCへ。卓話楽しみにしています。
上野山(捷)君：渡辺誠二様、遠いところお越し下さいまして、ありがとうございます。
児島君：渡辺理事様、ようこそ有田へ。『友』あれこれ楽しみです。
脇村君：渡辺誠二所長、本日の卓話楽しみです。
松村君：渡辺誠二様、有田RCへお越しいただきありがとうございます。
上野山(栄)君：ロータリーの友事務所所長 渡辺様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。
御坊RC 塩路様、丸山様ご参加ありがとうございます。
橋爪(誠)君：渡辺様、ようこそ有田RCへ。先日からありがとうございます。勉強させていただきます。
塩路様、丸山様、ごろう様です。ありがとうございます。
井上君：ゲスト・ビジターの皆様、ようこそ有田RCへ。
川口君：渡辺誠二様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話、宜しくお願い致します。勉強させていただきます。
石垣(泰)君：ゲスト・ビジターの皆様、ようこそ有田RCへ。
丸山君：渡辺様、昨日は色々お話が聞けて楽しかったです。今日は卓話楽しみにしています。
木本君：渡辺誠二様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願い致します。
児嶋君：渡辺誠二様、塩路信人様、丸山信仁様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日より宜しくお願い致します。
嶋田(恵)君：渡辺誠二様、ようこそ有田へ。卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。

出席報告 (石垣(泰)例会運営委員長)

本日の会員数31名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数24名
(出席規定免除会員8名)

会長の時間 (橋本会長)

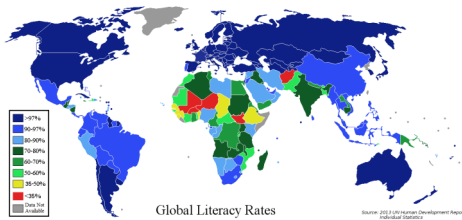
「基本的教育と識字率の向上」

9月21日開催の会長・会員増強委員長合同会議の内容について説明

- 中野ガバナーから以下の連絡
(ア) オンツー・ホノルルの登録を速やかに行う
(イ) 公共イメージのアップにつながる奉仕活動の積極的な広報の実施
(ウ) My Rotary登録の推進
- 川口正 会員増強・維持委員会委員長から各クラブに対して行ったアンケートの結果を紹介
- 第3地域ロータリーコーディネーター高島凱夫さんによる「会員増強について」の基調講演



世界には基本的な教育を受けられず、成人になっても十分に読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など諸問題の解決の糸口をつかむことができます。「基本的教育と識字率向上」は、ロータリーの6つの重点分野の一つです。



2000年以来、読み書きのできない成人の数は減少しつつあります。しかし、世界の非識字人口は7億8,100万人(世界の成人人口の15%)、その3分の2近くが女性です。

基本的教育・識字が重視される理由として、

- ①すべての女性が初等教育を修了すれば、妊婦の死亡率は66%減少する。
- ②読み書きのできる母親を持つ子どもは、読み書きのできない母親の子どもと比べて、5歳以上まで生き延びる確率が50%高い。
- ③低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、1億7,100万人が貧困から抜け出すことができる。これは全世界の貧困の12%に相当する。

読み書きできないことが、人の生死に関係するとは意外としか言いようがありませんが、人が生きていく上でそれほど大事な事なんだと改めて認識させられました。

1990年以来、学校に通っていない子どもの数は全世界

で1億200万人から5,800万人に半減しました。子どもたちが学校に通えない主な理由は、貧困、性差別、遠距離通学です。

また、世界的には教育の男女差の問題もあります。その主な理由は、女性の社会的立場、経済的理由、男性教員の性差別についての理解不足、長距離通学、安全上の問題、学校の衛生施設の不備などです。

我々有田RCは、今年度もミャンマーへの国際奉仕で小学校への寄付を検討していますが、少しでも「基本的教育と識字率向上」に貢献出来ればと思います。

幹事報告 (中元幹事)

- 1) 地区より
①ロータリー財団メジャードナー顕彰午餐会が届く(成川守彦パストガバナーにメールでお知らせしました)
②国際ロータリー第2640・2650・2660・2680地区ローターアクト2019-2020年度 関西四地区交流会 開催の案内が届く(丸山委員長にメールでお知らせしました)
③インターアクトリーダーシップフォーラムの案内が届く(丸山委員長にメールでお知らせしました)
- 2) 公益財団法人ロータリー米山記念奨学より
①ハイライト米山が届く(嶋田ひで委員長にFAXでお知らせしました)
②「奨学生レポート」受付を完了のお知らせが届く(川口カウンセラーにメールでお知らせしました)
③2018年米山記念奨学会事業報告書と決算報告書が届く(川口米山委員にお渡ししました)
- 3) 有田南RCより有田3クラブ合同ゴルフコンペの写真が届く(児嶋委員長にお渡ししました)
- 4) 例会変更(後方に掲示)
- 5) クールビズの終了(10月10日よりネクタイ、ジャケットの着用をお願いします)



委員会報告

- * 会員組織(増強)委員会(井上委員長)
会員増強合同委員会について
 - * 社会奉仕委員会(木本委員長)
「令和元年8月 九州北部豪雨災害」義損金のお願い
 - * 例会運営委員会(石垣(泰)委員長)
例会終了後、委員会を開催いたします。
 - * R財団委員会(松村委員長)
橋本会長から特別寄付をいただきました。
 - * クラブ社会奉仕委員長会議(中元幹事)
日時: 2019年9月14日(土) 13:30~
場所: JA和歌山ビル 和ホール
1. セッションー1「進化するロータリー」
 - ① プレゼンテーション
 - ・「国際ロータリーの向かう奉仕とは」
社会奉仕副委員長 上野山栄作君

②会場ディスカッション

コーディネーター 社会奉仕委員長 板東剛君

- ・今後、クラブの委員会組織をどうするか検討してほしい。(地区のように社会奉仕委員会に青少年奉仕委員会を組み込むのか)
- ・奉仕活動もRIの戦略活動に沿って、社会奉仕、青少年奉仕を一括りにして活動してほしい。

2.セッションー2「青少年奉仕トーク」

①プレゼンテーション

- ・「ローターアクト」

直前地区RA代表 佐近悟君(岸和田RAC)

- ・「RYLA」元地区RA代表 鈴木淳也君(御坊RAC OB)

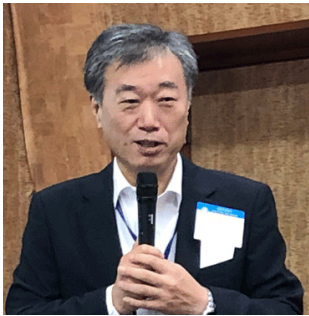
②会場ディスカッション

コーディネーター 社会奉仕委員長 板東剛君

- ・地区の方々から、有田RACの復活を期待しているとの意見がでた。

卓 話

「『友』あれこれ」



一般社団法人
ロータリーの友事務所
所長・理事

渡辺 誠二 様

全世界のロータリークラブ機関誌は、国際ロータリーの本部が編集・発行している『The Rotarian』です。これは1911年に創刊されました。1970年代半ば、各地の雑誌が地域雑誌として認可され、『友』は1980年に認可を受けました。そして、定期的に国際ロータリー本部の審査を受

け認定を継続しています。

さて、『ロータリーの友』は日本のロータリーが二地区に分割された後も、互いに情報交換ができるようにと、1953年1月に創刊されました。横組みの雑誌として創刊され、現在の横組みはRI指定記事や月間の特集記事等、公式的な記事을載せています。縦組みは、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となるべく投稿記事を中心に編集しています。1953年に創刊された先輩たちの思いを大切にしています。

ところで2017年度に改革があり、「編集長の交代」「表紙の変更」。「New Generation」、「私の一冊」「声」のコーナー設置。その他、7月号ガバナー紹介の工夫。パズルdeロータリーの改定もしていきます。「心は共に」の震災支援活動は基本的にアットワークに掲載し、3.11の他、大規模な災害に対する活動や、メッセージをまとめます。さらに今年から「この人 訪ねて」を開始しました。

また、『友』の写真・文章は著作権の関係で、クラブ単位で使ってしまうと問題が起きます。編集部にお問い合わせいただきたいと思います。

『友』を取巻く環境は大きく変化しています。財政面から、2016年7月号からA4判変形からA4判になりました。WEBサイトもリニューアルし、WEB版も発行しています。WEBサイトには、投稿フォームが新設され投稿手段の種類も増えました。

2020年、東京クラブができて100年になります。文庫、米山と協力して編纂委員会を設置し、日本のロータリーの発展を望む年史を発刊予定です。

よりよい『友』を作るためには皆さんとの協力が大切です。投稿は『友』の命ですが、投稿規定がありますので確認ください。今後ともよろしくお願いいたします。

閉会・点鐘

(橋本会長)

9月25日(水) 橘家にて
渡辺誠二様を囲んで懇親会が行われました

